



225でシンプル 投資を始める

日経225先物取引入門

OK.SHU

はじめに

このたびは、当レポートをダウンロードしていただき、ありがとうございます。

このレポートは、「小遣いや資金をローリスクで確実に増やしたいが、なるべく時間をかけたくない」という考えの方を対象にまとめました。そして、この基本的な考え方は私の理想でもあります。

さて、タイトルで「225」と書きましたが、これは「日経225先物取引」の略です。一見難しそうで専門的な響きのある言葉ですが、一度覗いてみればいかにシンプルな投資かがすぐにわかると思います。

どうか、最後まで目をとおしていただいて、あなたの今後のよりよい人生のお役に立つよう祈念しております。

目次

1. なぜ日経225先物取引なのか	3
2. まず口座開設	4
3. 口座開設から取引開始まで	5
4. 「シンプル投資法」ー実際の取引の流れ	6
5. 先物取引とは	7
6. 日経225先物取引	8
7. 日経225先物取引のトレードスタイル	9
8. 短期トレードスタイル	10
9. 売買の鍵「トレードロジック」	11

1. なぜ日経225先物取引なのか

なぜFXなど様々な投資商品の中から
日経225先物取引をお勧めするのか。

それは、第一に、**シンプル**だからです。
Simple is Bestです。

たとえ儲かる話でも、
一日中夜中まで何時間も
パソコンに張り付いていたりしているのはだめです。

銘柄が一つだから、シンプル。
資金をここに集中できるから、シンプル。

さらに私の理想とするやり方は、
取引方法もシンプル。

**毎朝寄成(よりなり)でエントリーして
引成(ひけなり)で決済するだけ
(いわゆる「寄り引け」)** ですから。

仕事していてもできます。

起床したら、パソコンを起動して、エントリー。
休み時間に引成決済注文。
あとは、結果を待つだけ。

これは、サラリーマンでなくても同じです。
例えば退職して悠々自適(?)の趣味生活のお父さん、
子育てで忙しい主婦にとっても

Simple is Bestです。

パソコン(スマホ)に張り付いている必要がないのです。
**パソコン(スマホ)に張り付いているよりももっと
大切なことに時間を使えるのです。**

もちろん、シンプルだけではありません。
稼げなくては意味がありません。
自由の源は半分以上お金が占めています。

この2年間の
わたしのお薦めするシンプル寄り引けトレードの成績は、
1日平均約+15円
ラージ1枚で1万5千円，ミニ1枚で1500円です。

ミニ1枚で月に平均3万円，
初めに10万円入金したとして，元本の30%です。
20万入金しても，15%の利益です。
(もちろん、やりようによっては
倍以上の利益を上げることも可能です。)

これでは不満ですか？
朝のほんの10分程度の作業で
定期預金の利息の100倍以上
を稼ぎ出すのです。

2. まず口座開設

これをお読みの方には、改めて説明するまでもないと思いますが、日経225先物取引は、FXなどと同じようにパソコンやスマートフォンがあれば、Web上でオンライン取引をすることができます。

検索エンジンで調べますと、日経225先物取引の[比較サイト](#)が出てきます。その中のどこでもいいですから、まず口座を開設しましょう。

口座を開設するのにお金がかかることはありません。お金がかかるのは、実際に取引を開始する時です。

口座を開設する最大のメリットは、チャートを見ることができることです。

もちろん口座を開設しなくても見られるチャートはありますが、リアルタイムで細かく変化していく相場の様子は証券会社のチャートでなくては分かりません。

リアルトレードをするまでにその証券会社のサイトに慣れておくことも大切です。

そして何よりも、私は、**あなたが即座に取引を開始することをお薦めしません。**

世の中に完璧なロジックなどありません。私自身、「今使ってるロジックもいつかは崩れるときが来る」ということを考えながら、常に未来に向けてより良いロジックを探っているのが現実です。

ということで、今すぐ[口座開設](#)。しかし、リアルでのスタートは慌てない。

それでも、資金に余裕のあるという方は、どうぞ始めてください。

3. 口座開設から取引開始まで

さて、どこの証券会社にするか迷う方は、
説明上、私が現在使っている[カブドットコム証券](#)で開設しましょう。

口座開設は難しくありません。
個人ナンバーカードや運転免許証のコピーなど
自分を証明できるものをメールで送ることもできます。

口座開設が完了したら、あとは入金すればトレードできます。

しかし、繰り返しますが、
しばらくは眺めているだけにしましょう。

資金に余裕がある方でも、
初めはミニ1枚からスタートすべきです。

慎重にトレードしていけば、
1年で数倍に増やすことも可能です。
運が良ければもっと早く達成するかも知れませんが、
焦る必要はありません。

資金管理をしっかりしないと
とんでもないやけどをしてしまいます。

ミニの証拠金が1枚6万円から10万円程度ですが、
最低10万、できれば30万円以上入金しておきましょう。

これには、わけがあります。

この数年間での最大ドロウダウンが-1260円 (H28.12.9)、即ちミニ換算で1日に12万円強の損失
です。10万未満の資金では一発で吹っ飛んでしまいます。即日追証を入れる催促が来ますの
で面倒です。

なので、20万以上あれば、安心といえるでしょうが、
しばらくは、眺めるだけにしておきましょう。

4. 「シンプル投資法」－実際の取引の流れ

225 シンプルデイトレードの寄り引けトレードについて、大体の流れを説明します。

朝起床したら、6時半頃からパソコンかスマホを起動して、注文の予約を入れます。

寄成（取引開始の成行）での売買注文です。

「売り」なのか「買い」なのかそこが難問ですが、私のメルマガや別のレポートを参照してください。

あとは昼間の仕事だけを考えていればいいのです。8:45取引開始直後に約定の知らせが入ります。この知らせさえ知る必要はないのですが、

休み時間を利用して決済の注文を入れておきます。引け成り（15：15の日中の取引終了時に成行）での決済注文です。

そして、3：15 pm 約定の知らせが入ります。これも、知る必要はありません。結果は、帰宅してゆっくり見ればいいわけです。

5. 先物取引とは

では、次に基本的な知識を学びます。

先物取引とは、
将来の相場や金利を現時点で確定契約する取引を言います。
なので、英語では、[future s](#)と言います。

期日までに現時点で取り決めた価格（約定価格）で
取引することを約束する契約で、
価格変動で受ける将来の損失を防ぐために生まれています。

例えば為替変動の影響を避けるために、
輸入原材料や為替自体などが広く取り引きされています。
株式の場合、[日経平均株価](#)や[TOPIX](#)などをもとに価格を決め、
期日が来ると売り手、買い手がともに契約を履行
しなければなりません。
期日までに[反対売買](#)を行い、
当初の約定価格と反対売買価格との差額を受払する
[差金決済](#)で契約を解消することもできます。

先物取引は、[デリバティブ（派生商品）](#)とよばれ、
金利・債券・株式・為替・コモディティなどの
原資産から派生した商品です。

デリバティブ取引は、
少ない資金大きな利益を狙える[レバレッジ効果](#)と
保有資産の値下がりに対する[リスクヘッジ効果](#)
をあわせもつ商品です。

6. 日経225先物取引

日経**225**先物は、日経平均株価という株価指数を
売買することで収益を狙う商品で、
株価が上がると予想した場合は買い、
反対に安くなると思ったら売ることにより利益を狙います。

- 1.日経225先物取引は、
日経平均株価（日経225）を売買する取引です。
- 2.日経225先物取引は、
日経平均がこの先高くなると思ったら買い、
安くなると思ったら売ります。
日経225先物を買ったときは買い建玉と呼び、
日経225先物を売ったときは売り建玉と呼びます。
- 3.日経225先物取引は、
最低取引単位を「枚」と呼び、
一枚は日経平均株価指数の1000倍です。
なお、日経225先物の取引単位を10分の1に
小口化したものを日経225ミニと呼びます。
- 4.日経225先物取引は、
証券会社に証拠金を預けなければなりません。
- 5.日経225先物取引は、
株券の受け渡しがないので、
損益のお金を受け渡す差金決済になります。
差金決済が認められているので、
証拠金が足りていれば自由にデイトレードができます。
- 6.日経225先物取引は、
少ない資金で大きな金額の取引を行うことができます
(レバレッジを効かすことができる)。
- 7.日経225先物取引は、決済期限があり、
決済期日は3月、6月、9月、12月の第2金曜日の前日

となっています。

それまでに反対売買して清算していなかった場合、
第2金曜日に自動的に決済されます。

7. 日経225先物取引のトレードスタイル

ここで、
225トレードにおけるトレードスタイルについての
概略を説明します。

①長期トレード

一般的な株式投資のように何週間も何ヶ月も建玉を保有して
いて、ファンダメンタルな変化に応じて決済したり、新規に建
玉を持つような取引です。

変動幅が大きいので、
長期トレードは、
資金にかなりの余裕があることが
前提になります。

私がもし長期の建玉を保有するとすれば、
証拠金の10倍ほどの資金を充てることが
できるときでしょう。

例えば、
ざっと100万円以上の資金があれば、
ミニ1枚を長期で持っていてもいいかなと思います。

②中期トレード

スイングトレードとも言います。
長期に対すれば、短期トレードの仲間ですが、
私は短期の範疇に入れないので「中期」と読んでいます。

1日以上、数日間（数週間）建玉を保有するトレードです。
長期トレードよりも、テクニカル分析による取引が
主になってきます。

資金は、狙う利益幅によって変わってきます。
通常、余裕資金で大きい利益を狙うトレーダーが
多いと思います。

③短期トレード

1日以内か2日以内より取引を完結させるものを言います。

1日以内で終わらせるのが基本ですが、
翌日の寄り付きで決済する、
オーバーナイトもこれに含めます。

基本的にテクニカル分析により取引します。

資金が潤沢でない場合に向いています。

8. 短期トレードスタイル

①デイトレード

1日以内にトレードを完結させるスタイルで、
日中取引と、夜間取引、オーバーナイト取引などがあります。

私の場合、デイトレと言えば日中取引のことを指します。
日中取引は、8：45に取引を開始し、
15：15に取引を終了します。

夜間取引は、ナイトセッションともいい、
16：30に取引を開始し、
翌朝5：30に取引を終了します。

オーバーナイトトレードは、
持っていた建玉を5：30に決済しないで
翌朝の寄り付きで決済するスタイルを言います。

②寄り引けトレード

デイトレードの代表的なスタイルとも言えるのが
寄り引けトレードです。

私がおすすめるのは、
日中取引の寄り引けトレードです。

取引開始の8：45以前に売買注文を出し、
終了の15：15以前に決済注文を出します。

8：45のことを「寄り付き」
15：15のことを「(大)引け」と言うので、
この通称が付いています。

通常、8：45以前に「寄成」（寄り付き時に成り行きで）
で注文し、直後に注文が約定したら、
即座に「引成」（大引け時に成り行きで）決済します。

朝の5分から10分程度の時間の操作で

できるトレードなので、
シンプルトレードの典型とも言えます。

③短時間デイトレード

寄り引けトレードは、注文を入れてしまえば、
約6時間の間放っておけるので、
シンプルな良さがある反面、
その間何が起こるか不安になります。

そうしたリスクを回避し、
少ない資金で挑戦する方法があります。

まず、
30分足か15分足のチャートを使った
裁量トレードがあります。
日中2,3回のトレード回数になります。

次に、
1分～5分足のチャートを使ったトレードです。
これは、短いときは秒単位、長くても数十分程度の
トレードで、スキャルピングと言っていいでしょう。

テクニカル・スキルを駆使して、短時間に取引します。
これら短時間トレードでは、
チャートから目を離すことができません。

では、早速口座を開設しましょう。

→[証券口座比較](#)

→[カブドットコム証券](#)

スマートフォンで取引する方は
CFDをおすすめします。

(広告)

DMM CFDでは、スプレッド(売値と買値の差)を業界最狭水準！！

■■■ DMM CFD なら あなたもできる・・・■■■

取引手数料0円！！『全額信託保全』導入済み！！初心者でも簡単4銘柄！！

>>使いやすい取引システムでお好みのレイアウトにカスタマイズ<<

9. 売買の鍵「トレードロジック」

日経225先物取引が
投資初心者にとっていかに扱いやすいものか
お分かりいただけたと思います。

さて、
では、いざトレードをスタートするにあたり
どのようなタイミングでどのような判断で
売買したらよいのでしょうか。

その「売買の鍵」とも言えるのが
トレードロジックです。

私は、数年間の225トレードの経験に加え、
蓄積したデータを分析して
いくつかのロジックを考案しました。

その基本となる考え方は
「シンプル」であること。

もう一つの無料レポートである
「日経225先物取引 超シンプルロジック ドS」
のほか、有料で2種類のロジックを公開しております。

ご利用くださるようご案内申し上げます。

↓

[シンプル225](#)

225でシンプル投資を始める

<http://p.booklog.jp/book/114328>

著者 : OK.Sure

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/oksyu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/114328>

電子書籍プラットフォーム : パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社トゥ・ディファクト